

教科書の特徴

教科書名：BIG DIPPER English Logic and Expression II (104 数研 論II 712)

① 内容

- A. 題材は、学習者の人間として調和のとれた成育に寄与するもので、学習者の実生活に即応したバラエティに富んだ内容（言語材料、言語使用の状況など）が扱われている。
- B. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成することが可能なように、問題演習の指示文は多くの場合英語が用いられている。また、生徒が実際に言語活動を行いやすいように、具体的な指示・モデルパターンが掲載されている。
- C. 論理的な意見構築や文章構成の基礎となる論理的に正しい文・機能表現の習得が、使用場面や伝達内容を重視した豊富な演習を通じて、確実に行える内容が扱われている。
- D. 事実や意見などについて、多様な観点からの考察や、表現上の工夫がなされるように、学習者間の相互交流を意識した言語活動が多く設けられ、学習者が主体的・自律的に授業に関与することが可能な構成となっている。

② 構成・分量(単元の配列や特色・分量)：本資料末尾に CONTENTS を掲載。

- A. 本書は大きく3つのパートによって構成されている。PART 1 は英語で表現するための基本的なルールを学習するパート、PART 2 は言語の働き（機能）を意識してより効果的なコミュニケーションを図る力を育成するパート、PART 3 は presentation や debate などの総合的なコミュニケーション活動を行うパートとなっている。PART 1 には正課16課、PART 2 には正課12課、PART 3 には正課7課が設けられ、重要なポイントを適切な言語活動を通じて万遍なく習得できるように配慮されている。
- B. 各PARTの本課の3～4レッスンごとに、Express It Logically という論理的な表現力をさらに伸ばさせる課が設けられている。主に、PART 1 では文章（パラグラフ）の作成について、PART 2 では図表の読み取り・表現、要約文の作成などについて扱われている。
- C. 加えて、音声面や文法事項・機能表現の定着を図ることが可能なように、二次元コードを経由して、各課の文章の音読練習、Review Exercises〔復習問題〕、文法のまとめなどが、参考情報として提供されている。

③ 表記・表現 及び 使用上の便宜

- A. 各課において、表現形式の習得・練習と自己表現活動がバランスよく行える内容となっている。
 - 1. PART 1：英語で論理的に表現するための基本的なルールの習得に主眼が置かれている。
 - a. 左ページ：各課で学習すべきポイントを含むモデル文章のリスニング＋ライティング問題、音読練習、コミュニケーションの場面を想定した、確認・定着のための問題演習が設けられている。
 - b. 右ページ：各課の学習ポイントを含む文章のリスニング＋ライティング問題、文章の再現と、これを応用した自己表現活動（自由英作文）が掲載されている。また、各課の締めくくりとして、ペアワークで発表・やり取りの活動を行うことが可能となっている。

2. PART 2： 言語の働き（機能）を意識した効果的なコミュニケーションを図る力を育成することに重点が置かれている。

a. 左ページ：各課で学習すべきポイントを含む対話文などのリスニング＋ライティング問題、表現のまとめ、コミュニケーションの場面を想定した、確認・定着のための問題演習が設けられている。

b. 右ページ：機能表現を含む Dialog を題材として、リスニング＋ライティング問題での導入のち、ディクテーション・ロールプレイングや、対話の内容を要約するリテリングの練習が可能な構成となっている。これをふまえて、自己表現活動を含めたペアワーク・グループワークで、発表・やり取りの活動を行い、さらに各課の締めくくりとして、各課に関連したテーマについて自分の意見を述べる練習を行うことが可能である。

3. PART 3： presentation, discussion, debate といった、比較的高度な言語活動により、情報や考えをまとめて発表する、グループで多様な意見を述べ合うなど、より総合的なコミュニケーションを行う力を身につけることが目的とされている。グループワークなどを行うことで、アクティブ・ラーニングに活用できる。

B. 上記の正課のほか、Express It Logically の課によって、論理的な表現力をさらに向上させることが可能である。PART 1 では文章（パラグラフ）の作成について、PART 2 では図表の読み取り・表現、要約文の作成などについて、それぞれ基本的な留意事項が適切にまとめられている。また、PART 2 の Writing [補充問題] によって、email など様々な種類のまとまった文章を書く演習も可能となっている。

④ その他

A. 教科書の冒頭に導入として設けられた「はじめに」では、英語表現力を効果的に身につけるための、文章構成・英語表現・学習体動などに関する留意点が掲載されており、「論理・表現」の学習に臨む姿勢を改めて点検できるようになっている。また、前後見返しでは How to Write a Letter [手紙・Eメールの書き方]、Punctuation [句読法] など、主にライティング活動に関する注意点が補足されている。

C. 学習指導要領の内容に関しても、各所において適切な扱いがなされている。

(1) 話すこと [やり取り]

…PART 1・2, Express Yourself, Express It Logically 5,7,8 など

(2) 話すこと [発表]

…PART 1, Read Aloud, PART 1・2, Express Yourself, PART 3 など

(3) 書くこと

…PART 1, Listen and Answer, Think and Express! [A][B], Express Yourself!, Express It Logically 1～4, 6; PART 2, Think and Express (A), Writing など

(4) 上記の基礎となる「思考力・判断力・表現力等」

…基礎的な文法事項：PART 1 全般 / 様々な言語の使用場面・言語の働き：PART 2 全般 [モデル文の理解 (PART 1, Tips for Expression, PART 2, Expressions) など]

◆教材配当表 <B5判・128ページ・4色>

課	タイトル (学習事項)	課	タイトル (学習事項)
はじめに一英語表現力を効果的に身につけるには		PART 2 機能シラバス	
PART 1 文法シラバス		1	What's Your Favorite Dish? (好き嫌いを述べる)
1	School Festival (現在・過去/進行形)	2	Uniforms or Casual Clothes? (希望・欲求を述べる)
2	A Trip to Sapporo (未来表現)	3	Project Studies Program (賛成する, 反対する)
3	My Dear Friend (現在完了/進行形)	E5	インタビューを行ってみよう
4	A Dog in a Barbershop (助動詞)	4	A Guitar Concert (勧誘する・招待する, 期待する)
C	リスニング・スピーキングにおける注意点	5	Studying Abroad (計画・意図を述べる)
E1	パラグラフの「型」を意識しよう	6	What Should I Do? (提案する, 助言する)
5	Japanese Food (受け身)	E6	サマリー・ライティング
6	Volunteer Activities (不定詞①)	C	politeness (ポライトネス) を考えよう
7	A Stage Actor (不定詞②)	7	A Korean Drama (程度・譲歩を述べる)
8	I Like Singing (動名詞)	8	Going Bird Watching (依頼する・要請する)
E2	パラグラフの「展開」を工夫しよう(1)	9	Meeting the Deadline (許可を求める)
9	Cycling (分詞)	E7	図表の内容について伝達してみよう(1)
10	My New Hiking Boots (比較①)	10	Friendship Festival (感謝する, 喜ぶ)
11	The Yangtze River (比較②)	11	Returning a Magazine (謝罪する, 謝罪に応じる)
12	My Sister's Job (関係詞①)	12	What Is Your Opinion? (個人的な意見を述べる)
E3	パラグラフの「展開」を工夫しよう(2)	E8	図表の内容について伝達してみよう(2)
13	In Kansas City (関係詞②)	PART 3 発展的言語活動 (プレゼンテーションなど)	
14	Dreaming of Space (仮定法①)	1	Making a Manuscript
15	An Android Like You (仮定法②)	2	Making Your Presentation More Effective
16	I Left My Smartphone (時制の一致・語法)	3	Being an Active Listener
E4	英語でエッセイを書いてみよう	4	Having a Discussion
C	和製英語	5	Speaking in Order
		6	Thinking Logically and from Different Angles
		7	Sharpening Your Thinking Ability
		Useful Expressions/Index	

* 各課 1~2 時間で学習。 * はじめに：表現力養成上の基礎的な留意事項をまとめた導入ページ。

* C : Column : 発音や politeness (ポライトネス) などに関する, 英語表現上の注意点。

* E : Express It Logically : パラグラフ・ライティング, 図表の内容の伝達活動など。

* PART 2 の 3 課ごとに, Express Your Opinion のヒント, Writing (email などの自由英作文) を掲載。

* 前後見返しでは「英文手紙・Eメールの書き方」「句読法における留意点」を掲載。